

第3学年数学科 学びのデザイン

日 時 平成27年11月17日(火) 5校時

場 所 3年6組教室

学 級 3年6組(男子21名 女子17名 計38名)

指導者 岩淵 尚仁

1 単元名 6章 三平方の定理

2 本時の目標 (1/11時間)

- ・ 直角三角形の直角をはさむ2辺の長さとし斜辺を1辺とする正方形の面積の値に関心を持ち、いろいろな場合について調べ、その関係を見いだそうとしている。 【関心・意欲・態度】
- ・ 直角三角形の直角をはさむ2辺の長さとし斜辺を1辺とする正方形の面積の値の関係を見いだすことができる。 【見方や考え方】

3 おもな授業の流れ

(1) 導入

- ・ 「平方根」の章であつかった、方眼紙の正方形をもとに、面積と1辺の長さについて確かめる。

(2) 学習課題 直角三角形の3辺の間に成り立つ関係を調べよう。

(3) 共有1

- ・ 方眼紙の直角三角形もとに、面積の関係を考える。【作業 個人・グループ】

(4) 共有2

- ・ 直角三角形をもとに、3辺の関係を考える。【作業 個人・グループ】

(5) ミニジャンプ

- ・ いろいろな場合の三平方の定理について考える。【作業 グループ】

(6) まとめ

- ・ 直角三角形の3辺の関係をまとめる。

4 指導にあたって

「三平方の定理」の導入である。三平方の定理の不思議さや楽しさが感じられるような、工夫した教材を活用し、生徒の興味・関心をひき出したい。そして、今後の単元の学習に生かしていきたい。